



田代町役場企画管財課



早期米の初検査

人口のうごき

平成2年8月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,895	2	8	2	4	4
女	2,080	0	5	2	6	△3
計	3,975	2	13	4	10	1
世帯数	1,439					4

田代米初出荷

早期水稻の収穫が終り、田代米が自主流通米として県内をはじめ遠くは東京、名古屋方面へ出荷されています。

今年の水稲は、害虫等による被害もなく出来高、品質ともに例年以上のものでした。

正副小組長と町技連の

合同研修並びに町政座談会

田代町小組長連絡協議会では、毎年実施している田代町技連会との合同研修並びに町四役、各課長、事務局長、をまじえて、今後の町政発展へのより良い方策を探る座談会を実施しました。

田代町小組長連絡協議会は、町内の優良農家の経営や小組合団体グループ等の研修、経済振興対策等について技連会との合同研修を毎年行っています。



今年は、田代日昌、やよい商会の工場見学、畜産基地の永山団地、上原にできた野菜集荷所、鶴園の畜産団地、山の芋、最後に軽種馬育成トレーニングセンター等観光及び農業の現地研修を行いました。

午後からは、福祉センターにおいて午前中の反省や行政、農協との意見交換を行い有意義な座談会が行われました。

体験農業ツアー

八月九日、十日の二日間体験農業ツアーを、実施し鹿兒島市たしろ会、鹿兒島よろん会より参加され、貴重な農作業体験に汗を流しました。

このツアーは、都市と農村の交流を深めることで農業と田代を理解してもらい併せて観光農業として、地域の農家所得向上に役立てようと毎年春と夏、秋に実施しています。

今回は、鳥瀨の圃場の落花生掘り、池野の圃場で稲刈りや、今年から始めてぶ



どう刈りも行われ農業体験を楽しみました。

夜は、花瀬のバンガロー村で焼肉バーベキューを囲みながら、田代の与論出身の方々や昔話に話がはずみました。

二日目は、町内ふるさと巡りで奥花瀬ニジマス釣場、鹿兒島軽種馬トレーニングセンター等を見学した後、観光農園の楠八重でさつまいも掘りを楽しみ、田代の自然に満喫していました。



「暑い夏、きらきら輝くあなたのマナーと、交通规则」をスローガンに、七月二十一日から、八月二十日まで夏の交通事故防止運動が実施されました。

これは夏の解放感や暑さからくる疲労、レジャー交通の増加等で居眠り運転による交通事故の防止を願って毎年この時期に行われていますが、田代町では八月十三日、下公民館前でアメ玉作戦を展開しました。

田代町は、六月二十八日に交通事故死亡事故「0」の日

夏の交通事故防止運動

二千日が達成されましたがこの記録がさらに更新されますよう交通事故防止に御協力ください。

平成二年度高齢者

訪問について!!

平成二年度田代町の七十五歳以上(敬老年金支給対象者)は、四百六名です。

その中で、最高齢者は、上原部落の馬庭ケサマツさん(九十九歳)及び中尾部落の西元ケサガメさん(九十九歳)です。

尚、八十八歳以上の高齢者(四十人)は、次のとおりです。

下部落
田代井子 九十歳
平岡トキ 八十八歳
馬場部落
並松スガ 九十歳
東ノ原部落
山下ミヨ 八十八歳
東中郡部落
小倉スマ 八十八歳

橋ノ口部落

中原武一 九十歳
右田フサ 八十九歳

中村部落

倉元幸平 八十九歳

山下部落

山下ツルガメ 九十二歳

表木部落

上田ナカ 八十九歳
古里カメギク 八十九歳

山ノ口部落

宮原アリ 九十歳

西大原部落

中野ヲキヨ 八十八歳
中野ケサカメ 九十歳

中尾部落

坂元シゲサ 八十八歳
坂元マキ 九十歳
西元ケサガメ 九十九歳

新田部落

釘田ヒデ 九十歳
窪スナ 九十二歳

盤山部落

山田フジ 九十二歳
川畑ウト 九十二歳

鶴戸野

宮原キクノ 八十八歳

平石部落

福永ユク 九十歳

柴立部落

岩田ムメキク 九十歳

上原部落

井手口正義 九十二歳
馬庭ケサマツ 九十九歳

猪鹿倉部落

猪鹿倉仙次郎 九十歳

鳥瀨部落

鳥瀨清次 九十歳

鶴園部落

舞原フデ 八十九歳
柳田清二 八十九歳

南松園

平原ハツギク 八十八歳
北義範 八十八歳
天目石マツ 八十九歳
木之下クニ 八十九歳
岡野ナツヨ 九十歳
後迫次郎右衛門 九十二歳
谷川カ子マツ 九十三歳
永山義盛 九十三歳
富松幸 八十八歳

お知らせ

秋の交通安全運動

・運動の期間
平成二年九月二十一日(金)から九月三十日(日)までの十日間です。

・運動の重点
一、弱年運転者による無謀運転の防止
二、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底
三、違法駐車等の締め出し



「家出」それは転落の危機

「長い夏休みも終わり、子供達は元気に学校へ通い始め、親としては安心して

いた矢先に、突然家出をしてしまった。」と例年九月は、少年の家出が増加する傾向にあり、都会にあてがれ又は遊び癖、勉強嫌いが元で、親に知られて家出してしまうのです。

家出少年を待ちかまえているのは、非行と暴力団のエジキであり社会の裏側の世界へ引きずり込まれてしまふのです。

特に女子の場合、人身売買、売春などの少年の福祉を害する犯罪の被害を受けやすいのです。

更に中高生の家出は、昨年一年間で約七〇%にも達しています。

家出を防ぐには、親子の対話を十分にして、過保護放任にならないように気を配ることが大事です。

青少年の転落を防ぐため、子供が家出した場合はすぐに警察へ届けるようにしましょう。



お父さん、お母さんご苦労様!!



8つの縦割班に分かれて植えつけ作業



上手に植えつけられたかな?



下枝を払ってもらって木もにっこり!!



さあ、がんばるぞ!!

教育だより

田代小学校

一、親子で甘しょ栽培
本校ではPTAの協力を得て、学習農園で甘しょの栽培を行っています。これは農作業を通して、子供たちに働くことの苦労と喜びを味わせるとともに、体を通じた豊かな体験活動をさせることにねらいがあります。

二、PTAの協力を得て
学校林の下払い

かこしま巡回秀作
ギャラリー開催
9月18日から26日まで町開発センターホールで開催
県内の優秀な絵画、書、工芸、彫塑が展示されますので御鑑賞ください。
尚、絵画と書道教室が二日間おこなわれますので参加ください。

教育委員会の行事(9月)
スポーツ教室
「卓球」「バドミントン」
9月10日より毎週月曜日と木曜日
「バドミントン」
9月12日より毎週水曜日と金曜日
時間は午後八時から十時までです。
初心者を対象にしていますので遠慮なく参加してください。申込みは教育委員会まで。

小組合対抗
ソフトボール大会
9月16日(日)午前八時から
例年どおり開催されます。

第44回県民体育大会に
田代町からも出場!!

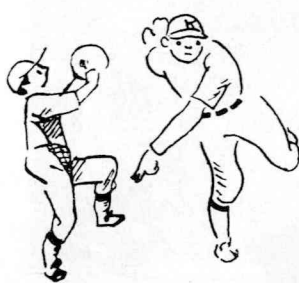
第44回県民体育大会は出水市を中心に開催されますが、田代町からも次の人が選手などで出場します。
●陸上30歳代100米
大寺和久(役場)

●バドミントン
柳田学

●バスケットボール
(郵便局)

●南園高樹(役場)

●漕艇
中野純治(鹿屋高)



九月の日曜在宅医

九月十五日
二川内科胃腸科 二川俊文
〇九九四二一〇三三
九月十六日
津崎医院 津崎邦英
〇九九四二一〇四一
九月二十三日
濱畑医院 濱畑俊仁
〇九九四二一〇五三〇
九月二十四日
大根占医院 山下健治
〇九九四二一〇二六五八
九月三十日
阿久根医院 阿久根廣一
〇九九四二一〇四二一〇〇

国勢調査に御協力を!!

平成二年十月一日に、全国一斉に国勢調査が行われます。
国勢調査は、国や県・市町村の福祉や雇用、住宅対策など、これからの行政の重要な基礎資料となります。九月二十三日から調査員が戸一戸、世帯ごとに調査票を配付し、十月七日までに調査票を集めに伺いますので、皆さんの御協力をお願いいたします。

なお、記入していただいた内容は、統計以外の目的に使用することはありません。御安心の上、ありのままを御記入ください。
▽問い合わせ先
役場企画管財課
電話 五二二五一一
県庁統計課
電話 二六八一一一
内線二二六五

学生も強制加入に

Q、私は20歳の大学生(全日制)です。これまで国民年金には任意加入だった20歳以上の大学生も、強制加

入になるとの話を聞きました。本当でしょうか。
A、国民年金制度では20歳以上60歳未満の方は原則として加入することになっています。しかし、20歳以上の大学、専修学校などの学生はこの範囲から除かれ任意加入の対象とされています。このため近年、若い方の交通事故も増加する中で20歳以後は在学中に障害者となった場合は、国民年金に加入していない限り障害基礎年金は受けられないことになりました。

また、老齢基礎年金は原則として40年間保険料を納めることで満額の老齢基礎年金が受けられますが、20歳以上の大学生等は卒業後の老齢基礎年金が受けられないなどといった問題点が指摘されていました。これらのことを改善するため平

平成二年「敬老の日・老人福祉週間」キャンペーン

平成二年九月十五日(敬老の日)から二十一日までの七日間

『みんなで築こう 明るい長寿社会』

9月9日は救急の日

用件は正しくあわてず119番



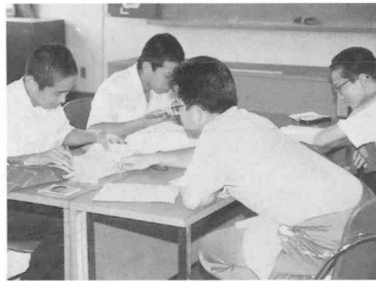
救急車を呼ぶときの3つのポイント
①救急事故などの発生場所と近くの目標
②どのようなケガか病気が
③ケガ人や病人の現在の容態(簡単に)

成三年四月から20歳以上のすべての大学生等も国民年金に加入しなければならぬことになりました。
なお、加入後に一般加入者と同じように保険料の納付義務が生じます。これらについては、学生本人や親に過重な保険料負担にならないよう保険料免除措置が設けられています。この具体的な取扱いについては、現在検討されています。

第152回 高山木材共販相場表

TEL 0994-65-5234 平成2年8月11日市

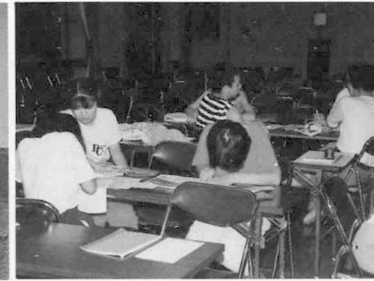
長級	径級	スギ					ヒノキ					平均単価
		主	安	中	高	間伐材	主	安	中	高	間伐材	
40	3~10	7,000	12,000	13,000	13,500	12,000		15,000	16,000	20,000	15,000	19,100円
	11~13	14,000	19,000	20,500	21,000	19,000		25,000	37,000	40,000	25,000	
	14~16		19,000	21,000	21,500	19,000		38,000	48,000	55,000	38,000	
	18~22	(タイコ)	20,000	21,500	23,000	20,000						
30	3~10		7,000	8,000	9,000	7,000		6,000	7,500	9,000	6,000	19,100円
	11~13		14,000	15,000	16,000	14,000		15,000	18,000	21,000	15,000	
	14~16		19,000	21,500	22,000	19,000		23,000	25,000	30,000	23,000	
	18~22	(タイコ)	19,500	21,500	23,000	19,500						



8月10日、事後研修会



高杉晋作の生家にて



サイクリング事前打ち合せ



ソフトボール優勝の原沢子ども会

優 勝 原沢子ども会
 準優勝 東中郡子ども会
 ハミニバレー
 優 勝 西中郡子ども会
 準優勝 東中郡子ども会

八月五日(日)、ソフト七
 チーム・ミニバレー七チ
 ムが参加して、親子球技大
 会が開催されました。
 この日にそなえて、どの
 子ども会も練習してきただ
 けあって、どの試合も熱戦
 が展開されました。
 ハソフト

親子球技大会開催
 ソフト 原沢子ども会
 ミニバレー
 西中郡子ども会が優勝

大会役員の方々には、ご
 多忙の中、ご協力をいただき
 ありがとうございます。



閉会式の様子



開会式の様子 (ミニバレー)



植物の部

七月二十九日(日)、県立博
 物館と教育委員会の共催で
 路傍300種学習会を鶴戸神社
 付近を中心に開催しまし
 た。
 町外からも多くの参加者
 があり、盛会のうちに終了
 しました。博物館の先生方
 の熱心な指導により、身近
 な植物・昆虫・岩石につい
 ての知識を深めることがで
 き、参加者の皆さんも大変
 満足そうでした。

路傍300種学習会開催



昆虫の部



岩石の部

機会がありましたら、皆さ
 んも参加してみませんか。

日本の歴史や文化・自然 人々の熱き思いにふれて

青少年県外研修「田代二才の旅」

七月二十三日(月)から七月
 二十八日(土)までの六日間、
 ふるさと創生基金事業の一
 環として、「田代町二才の
 旅」が実施されました。

参加者は、中学生・青
 年・職員の計十五名。研修
 地は、磐梯・会津若松市、
 大崎市、秋市。この研修は、
 異年齢集団活動の体験、日
 本の歴史や文化・自然にふ
 れること、近畿田代会との
 交流が大きな目的でしたが、
 いろいろな事を学んで帰っ
 てきました。

一口感想

いろいろな所を見て、自分
 が何もやっていないと感じ
 た。これからは、いろいろ
 なことをやっていきたいと
 思う。この研修をいかして、
 とても役に立つことをた
 くさん得たのでいい旅でし
 た。
 猪鹿倉 仁 実



結 団 式

つらい面や楽しい面がた
 くさんあったけど、めいわ
 くをかけながら楽しい研修
 でした。研修で学んだこと
 を早く何かに役立てたいで
 す。
 大 園 竜 二
 有 里 美 和



白虎隊自刃の地にて



会津若松市教育委員会にて



国立磐梯青年の家にて



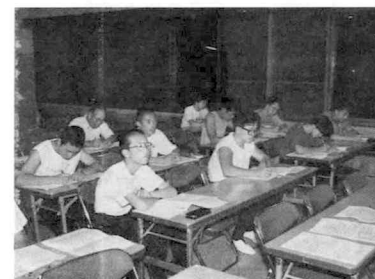
ふるさと田代について語りこむ



近畿田代会の皆さんと



野口英世の生家にて



真剣に話を聞く



三浦萩資料館長の講演



県立萩青年の家にて

健康だより

九月敬老の日によせて

「ひと声をかける

「お元氣ですか」

佐 橋 慶著

「おじいさんの台所」より
私の父は88歳9か月という長寿を全うしてこの世を去った。父は82歳の時、母に先立たれて一人暮らしを7年もした。

父は生命と真正面から向かい、暖かく、やさしく、ある時はきびしく真剣にみつめ育んでいた。

一人暮らしは自分とじっくり向かい合い、話し合うことだ。」と父は日記によく書いてあった。父の日記には自分と向かい合い、もう一人の自分と語り合っていた節がある。

「世間の人はこの若いたじいさんをよくも世を捨てず、一人で飽きも、嘆きもしないで生きている。未来の希みもないのに自分を愛しみ、あの高齢で育み育てている」とな。

だけでも、このじいさんのぼくは与えられたいのち

一回しか残念なことに生きられない人生を一杯開けて、生命が終わるまで好奇心と野次馬根性をもっていきたい。

あらゆる事を学ばせてもらい、楽しませてもらうのが生命への法養だと思っているが、生命というのは、自分で大切にしていらないと気がつかぬ間に自分の身体から逃げていってしまう。自分の手で、心で、目で全身で大事に育ててやらないといけないものだ。ぼくは自分の生命、心に魂に毎日「元氣かい」と声をかけ、話し合っている。

すると、どこにいても自分からないが、生命がちゃんと熱くなって感動をもって応じてくる。きつく扱うと生命は小さく、冷たくなるとどこかへ背を向けて逃げ縮まってしまふ。やっぱり自分の生命だから大切に、やさしく、あたたかく見守ってやらにゃいけない」父は死ぬ前日まで、こうして日記を書き記していたし自分に話かけていた。

「生き物は声をかけ、手

をかけてーこれは父の教訓であった。

植木とか花は私達人間の足音と声を聞いて育つもの、一日でも声をかけないと、どの花も木もさびしそようにしてうなだれている。父は毎朝、花や木に「おはよう！元氣かい」と声をかけていた。

私は東京に今住んでいるがその中には老人の一人暮らしが数軒ある。

私は隣近所のばあちゃんに時間が許す限り「お元氣ですか」と声かけを行っている。ある時は煮物、小鉢と、地方出張の折は少量のみやげを届け話しかける。ほんの2、3分でも喜んでいただけるから嬉しい。私の父が「遠くの娘より近くの他人娘」の近所の4人に支えられ、毎日声かけをして頂いた御礼の一片にでもなればと心がけている。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



鹿児島県茶業大会

平成三年十一月 田代町で開催

田代町社会福祉協議会

「篤志寄付金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され社会福祉協議会へ多額の寄付を賜りました。厚くお礼申し上げます。共に御冥福をお祈りします。

坂元 幸雄 様
近川 幸一 様
木佐貫 房子 様